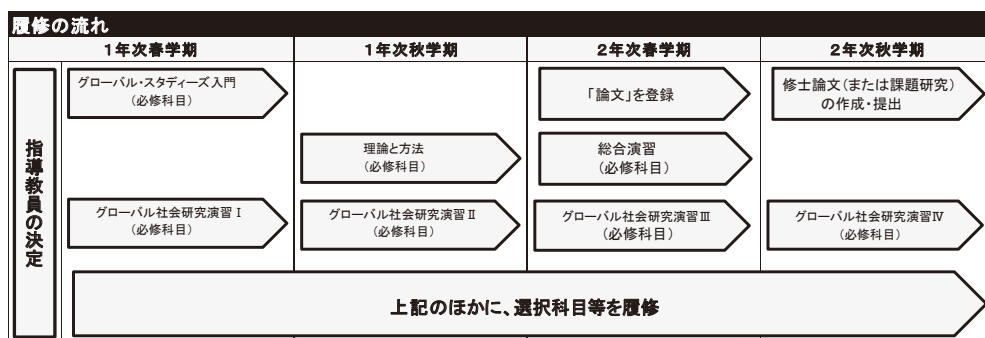


前期課程の履修の流れについて（2018年度以降生対象）

■履修の流れサンプル図（例：グローバル社会研究クラスター）



- ① 指導教員について
指導教員は、入学後のオリエンテーション期間中にオフィスアワーを実施し、希望する教員と面談し指導教員届（所定用紙）を提出後、決定する。
- ② クラスター毎の「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」・「演習Ⅲ」・「演習Ⅳ」は、指導教員のクラスを登録すること。
指導教員は、入学後のオリエンテーション期間中に決定するが、その後、研究テーマの変更等で指導教員の変更を希望する場合は、所属するクラスターの教務担当または研究科教務主任（P.232 参照）に申し出る。
- ③ **2年次春学期の科目登録の際には、一旦、全員「修士論文」を登録すること。**
(博士後期課程への進学を希望する場合は、修士論文必修)
- ④ 論文提出か課題研究による修了かを、以下の期日までに提出すること。
3月修了：7月31日（土日の場合は、前日もしくは前々日の金曜日とする）
9月修了：1月31日（土日の場合は、前日もしくは前々日の金曜日とする）
- ⑤ 修士論文での修了を希望する場合は修士論文の題目届を、課題研究での修了を希望する場合は課題研究の題目届を、2年次の秋学期（9月修了の場合は春学期）授業開始日までに事務室に届ける。
- ⑥ 修士論文、課題研究は、2年次の1月に提出する（9月修了の場合は7月）。日程等、詳細については別途掲示により指示する。（P.31～の「前期課程の修了と学位の取得について」を参照）
- ⑦ 特殊研究A・B・C・Dについて
毎年度、様々な最新のトピックスを扱う講義を開講している。
ただし、一年限りの講義となるケースもあるので、履修の際は注意すること。

⑧ 本学他研究科科目、他大学科目について

本学他研究科科目（※）、関西四大学大学院単位互換科目（P.48 参照）及び外国協定大学における履修科目を、修了単位に算入することができる。ただし、「履修方法・修了要件」（P.25・27）に定める条件を満たしたうえで、算入できるものとし、合計10単位を超えないものとする。登録の際には指導教授とよく相談すること。

※ただし、登録については当該科目の開設研究科が他研究科生に履修を認めている科目に限る。

⑨ 算入できる単位数の上限について

本学他研究科科目・他大学科目を、合計10単位を上限として、修了単位に算入可。

⑩ 入学前修得科目について

教授会が教育上有益と認めるときは、入学前に大学大学院において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を本大学院において修得したのものとして、10単位を超えない範囲で認定することができる。

⑪ 学部科目の履修について

指導教員が必要と認めた場合は、学部科目を登録履修することができる場合がある。

ただし、登録の際には、当該科目の開設学部事務室の許可印が必要となる。また、修了必要単位としては認めない。

⑫ 免許・資格について

グローバル・スタディーズ研究科で取得可能な教員免許の専修免許状は、「中専免（社会）」「高専免（公民）」である。（専修免許状は、一種免許状を取得する者のみ取得可能）
詳細は「免許・資格関係履修要項」を参照すること。

教職課程履修希望者は、免許資格課程センター事務室免許資格係（良心館1階今出川キャンパス教務センター内、TEL 075 - 251 - 3208）に相談すること。

⑬ 博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」の履修について

博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」（プログラム略称:GRM）の教育課程で修めた単位（GRMの科目コードで登録した単位）は、グローバル・スタディーズ研究科の学位取得に必要な単位としてカウントされないので十分に注意すること。

履修するにあたっては、博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」について（P.88）及び博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修要項を熟読すること。